

平成25年度生涯学習基礎調査 調査結果概要(ダイジェスト版)  
**「市町村教育委員会・公民館の講座及び研修についての実態調査」**

○実施機関：群馬県生涯学習センター  
 ○調査期間：平成26年1月

○配付数:66(回答数:66・回収率:100%)  
 ・各市町村教育委員会:35/35  
 ・各市町村の代表公民館(4町村を除く):31/31

平成20年2月の中央教育審議会答申では、生涯学習施策を推進するにあたり「個人の要望」と「社会の要請」のバランスを図ることが提言されてきました。近年、カルチャーセンター等、教育産業の台頭により、「個人の要望」を満たす講座は充実してきています。

一方、「社会の要請」は、高度情報化や少子高齢化、環境問題の複雑化等、社会の変化に伴います。ますます多様化・複雑化し、平成25年1月の「第6期中央教育審議会生涯学習分科会における議論の整理」では、主体的に地域社会の課題解決を担うことができる地域住民の育成に資する学習機会の重要性が述べられています。

そこで、本調査は、社会教育を推進する市町村職員を対象に、地域社会の課題解決支援の講座と、それを担う職員の資質・能力の向上のための研修の実施状況を調査し、群馬県生涯学習センターがとるべき市町村支援の在り方を探ることを目的として実施しました。

本調査結果概要では、17問の調査項目のうち今後の方向性に関わる部分を中心に紹介します。なお、本調査結果の詳細は当センターホームページをご覧ください。

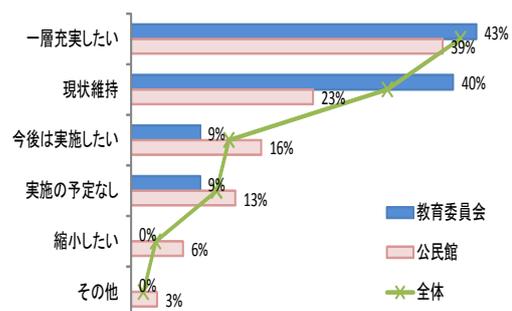
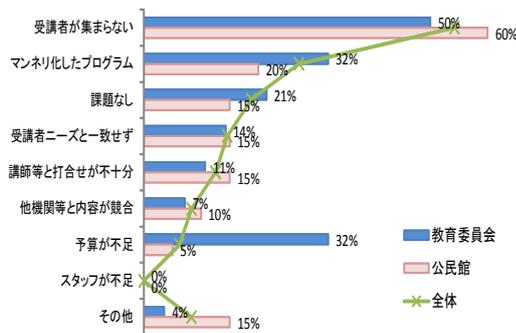
**1 講座の実施について**

□ 現代的課題に関する講座の実施状況及び学習領域の上位5は？  
**73%が実施。「人権」、「子育て支援」、「家庭・家族」、「防犯・防災教育」、「食育」が上位5**  
 講座の実施は73%。うち教育委員会は80%、公民館65%(問1-1)

〈今年度実施した現代的課題に関する講座の学習領域 上位5項目〉(問1-2より抜粋)

	教育委員会	公民館	全体
1 人権	82%	防犯・防災教育	55%
2 子育て支援	57%	家庭・家族	45%
3 家庭・家族	43%	地域の連帯	40%
4 食育	29%	子育て支援/人権/食育	35%
5 地域の連帯/まちづくり	21%	食育	31%

□ 講座を実施しての課題は？(問1-4) □ 講座を今後、どう考えるか？(問1-6)  
**「受講者が集まらない」が半数以上で最も高く、次いで「マンネリ化」が高い。** □ **「一層充実したい」が41%、次いで「現状維持」が32%で高い。**



**2 内部研修について**

□ 職員研修の実施率は？、  
**教育委員会が20%、公民館が16%と低い。(問2-1)**

□ 実施しない理由は？  
**「職員体制が整っていない」が48%、「時間がとれない」が30%と高い。(問2-4)**

一方、内部研修を実施している教育委員会・公民館では、実施後の「特に課題はなし」が最も高く、適切な研修体制が整っており充実していることが伺える。(問2-3)

